

2025年  
7～9 月期

# 廿日市市景況調査

Economic survey

## 廿日市エリアの景況

※旧廿日市市(合併後の区域)の調査結果

産業別の業況 DI は、製造業が前回値 (9.1) から今回値 (33.3)、建設業が (0.0) から (33.3)、卸小売業が (10.0) から (▲11.1)、飲食・サービス業が (7.7) から (▲7.7) であった。全産業合計の業況 DI は 8.1 ポイントと前回調査 (4～6 月) から 0.6 ポイント改善した。

製造業では、原材料価格の高止まりや需要の低迷は続いているものの、価格転嫁や付加価値の付与などの企業努力により業況は改善した。建設業では、受注環境が底堅く推移した一方で、人手不足と資材費の高止まりが続いており、採算面では厳しさが残る。

卸小売業では、猛暑の影響による外出控えや物価高に伴う節約志向が強まり、消費が伸び悩んだ。販売価格への転嫁は一部進んだものの、購買意欲の回復には至らず、業況は悪化した。飲食・サービス業は、観光需要やイベントによる集客効果が見られた一方、猛暑や人件費の上昇が収益を圧迫し景況感はマイナスに転じた。

賃上げの動きは全国的に広がっているものの、防衛的な側面が強く、中小企業では需要の低迷や人材確保難への対応が課題となっている。先行きについては、行楽需要の回復により緩やかな改善が見込まれるが、物価上昇やコスト増への不安は根強く、受注の鈍化や先行き不透明感の強まりから、景況の回復には時間を要するとの見方が多い。

### 事業者の声

【製造業】	<ul style="list-style-type: none"><li>・売上は前年度を超過。コスト管理効果もあり、業績は良化している。</li><li>・住宅市況の低迷は続いているが、付加価値を訴求した営業活動により、前年程度の売上を確保している。</li></ul>
【建設業】	<ul style="list-style-type: none"><li>・急激な物価上昇に、消費者の収入が追い付いていない。消費動向の減退を感じる。</li></ul>
【卸小売業】	<ul style="list-style-type: none"><li>・食料品の値上がり幅、とくにお米が大きすぎて先が見通せない。</li></ul>
【サービス業】	<ul style="list-style-type: none"><li>・出店や改装など投資を控えている企業が多い。</li><li>・取引先の業績不振に巻き込まれている。</li></ul>

### ●DI 値 (景況判断指数) について

DI 値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断状況を表す。ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上など実数値の上昇や下降を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

収入・売上：(増加) - (減少)      仕入価格：(上昇) - (下降)

採算・業況：(好転) - (悪化)      雇用人員：(過剰) - (不足)



業種別景況概要	前年同期	7～9月と先行き見通し									
	全産業	全産業		製造業		建設業		卸小売業		飲食・サービス業	
	対前年比	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
収入・売上	▲22.5	10.8	2.7	22.2	11.1	33.3	16.7	▲22.2	0.0	15.4	▲7.7
仕入価格	73.7	60.0	62.9	33.3	44.4	66.7	66.7	77.8	77.8	63.6	63.6
採算	20.5	24.3	18.9	55.6	66.7	33.3	16.7	0.0	0.0	15.4	0.0
雇用人員	▲35.9	▲30.6	▲30.6	▲11.1	▲11.1	▲66.7	▲66.7	▲22.2	▲22.2	▲33.3	▲33.3
業況	▲5.0	8.1	▲5.4	33.3	22.2	33.3	0.0	▲11.1	▲33.3	▲7.7	▲7.7
前回調査	-	7.5	▲5.0	9.1	▲9.1	0.0	0.0	10.0	▲20.0	7.7	7.7

(対象 63 社 回答 37 社)

■設備投資は？

回答 37 社中

R7.7～9月			10～12月 見込み
実施した・する	土地	3	2
	建物	2	2
	機械備品	14	9
	車両	6	8
	IT機器	7	6
	その他	2	1
	計	34	28
実施していない・しない		19	20

■当面の問題点は？

※回答のその他はランク外扱い

第1位	材料費や仕入価格が上昇	21.0%
第2位	人件費が増加している	18.1%
第3位	従業員や人材の確保が難しい	17.1%
第4位	売上、需要が増えない	13.3%
第5位	消費者ニーズが変化してきた	6.7%

